

学校関係者評価

第2回学校関係者評価委員会

番号	評価項目	そう思う	どちらかと言えそう思う	どちらかと言えそう思わない	思わない
	(学校評価について)				
1	「学校経営方針」や「経営計画」は、地域の実態、児童の実態等を踏まえ、適切に策定されている。	80%	20%		
2	「自己評価」の項目は、経営方針等を受けて重点化され、適切に設定されている。	80%	20%		
3	学校評価の年間計画は、適切に策定されている。	80%	20%		
4	「学校関係者評価」を行うにあたり、学校の各種情報が、委員に対して適切に提供されている。	80%	20%		
5	「自己評価」の結果について、委員に対して適切に説明されている。	80%	20%		
6	「自己評価」結果を受けて、改善に向けての取組の計画が、適切に立案されている。	80%	20%		
	(教育活動について)				
7	学校は、挨拶や言葉遣いなど基本的な生活習慣が児童に身に付くように、積極的に取り組んでいる。	100%			
8	学校は、一人一人の児童理解に努め、個に応じた教育活動を行っている。	80%	20%		
9	学校は、一人一人の児童の学力の定着と向上に向けて、組織的に取り組んでいる。	80%	20%		
10	学校は、児童の規範意識の向上や思いやりの心の育成に、積極的に取り組んでいる。	80%	20%		
11	学校は、地域のよさに目を向け、地域と連携して教育活動を行っている。	80%	20%		
12	学校は、保護者や地域の要望を取り入れ、改善を図ろうと努力している。	80%	20%		
13	学校は、保護者や地域住民に対して、積極的に教育活動についての情報提供を行っている。	100%			

【ご意見欄】

- ・毎日の登下校の児童の態度が明るく、学校へ行くのが楽しいと感じます。
- ・ほとんどの児童が明るく楽しそうな学校生活を送っている様子が見られ安心しています。保護者との関係も大切ですので連携を密にしていきたいと思います。
- ・学校の役割は知識の切り売りではなく、児童と先生方の信頼関係が重要であります。学校に行けば児童一人一人に関心を持ってくれる先生方がいて、友達と話し合いながらつながり、助け合う心と喜びを学ぶところだと思います。